

行政事業レビューシート (国土交通省)

予算事業名	ミリ波レーダーによるヒューマンエラー事故防止の技術開発		事業開始年度	平成20年度		作成責任者
担当部局庁	総合政策局		担当課室	技術安全課		課長 安藤 昇
会計区分	一般会計		上位政策	技術研究開発を推進する		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	第3期科学技術基本計画(平成18年3月閣議決定) 国土交通省技術基本計画(平成20年4月策定)		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	悪天候時において目視による発見が困難な送電線等の障害物との接触・衝突を防ぎ、ヘリコプター等の運行の安全性を高めるため、天候に左右されないミリ波レーダーを用いて、障害物の方位や距離を把握し、回避の方向を示す、小型・軽量の高度な監視支援システムを開発する。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	平成20年度から22年度において、次の内容の技術開発を実施する。 ①ミリ波レーダーシステムの小型・軽量化技術開発…走査機能を付加することにより監視範囲を格段に広めるとともに、小型・軽量化によりヘリコプター等の輸送機器への搭載が可能なミリ波レーダーシステムを開発する。 ②監視支援システムの構築…ミリ波レーダーシステム、赤外線カメラ等の各種センサ情報を融合し、障害物等の情報や回避経路等を運転者(監視者)に見やすい形で提示する監視支援システムを開発する。					
実施状況	21年度は、①ミリ波レーダシステムの小型・軽量化技術開発に関して、超小型ミリ波レーダ無線部の設計・試作、軽量なビーム走査機構の設計・試作及びミリ波レーダ周辺回路の設計・試作を、②監視支援システムの構築に関して、センサインターフェースの設計試作、情報融合ソフトウェアの設計試作を行った。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	-	37	33	22	-
	執行額	-	37	32		
	執行率	-	100%	97.0%		
	総事業費(執行ベース)	-	-	-		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業の実施にあたっては当該分野に関する専門的・技術的な知見が不可欠なことから、最も優れた提案をした者と契約を行う必要があるため、企画競争により委託先を選定している。 ・研究の進捗、予算の執行等に関し、受託者との定期的な打合せ、随時の連絡調整を行うことにより、研究の実施状況や資金使用を把握している。 ・委託先の支出の適正性については、毎年度経理検査を実施することで確認している。 				
	見直しの余地	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業については、事業計画通り22年度で、ミリ波レーダーを用いて、障害物の方位や距離を把握し、回避の方向を示す、小型・軽量の高度な監視支援システムの開発成果が得られる見込みであり、当初の目的を概ね達成すると認められることから、22年度で終了し、今後は成果の普及・活用に努める。 ・引き続き、研究の進捗、予算の執行等の把握に努めるとともに、執行の効率化を図ることとしている。 				
予算・監視の効率化	<p>【事業廃止】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度で目的を達成する見込みであり、事業継続の必要性が認められないため、平成22年度限りで事業を廃止する。 					
補記	<p>【予算科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・091 技術研究開発推進費 <ul style="list-style-type: none"> ・13 技術研究開発の推進に必要な経費 (21年度予算額) (21年度決算見込額) ・13054-2129-06 技術研究開発謝金 0.0百万円 0.0百万円 ・13054-2122-08 技術研究開発調査旅費 0.0百万円 0.0百万円 ・13054-2122-08 技術研究開発委員等旅費 0.0百万円 0.0百万円 ・13054-2123-09 技術研究開発調査費 0.0百万円 0.0百万円 ・13054-2125-14 技術研究開発委託費 33.3百万円 32.2百万円 					

国土交通省
32百万円

仕様書制定
・契約履行の監督及び検査

【企画競争】

A. (独)電子航法研究所
32百万円

先端ICTを活用した安全・安心な交通システムの開発…
ミリ波レーダシステムの小型・軽量化技術開発、監視支援シ
ステムの構築

【一般競争入札・少額随契】

B. 民間事業者(50社)
27百万円

- 装置の試作等
 - ・ミリ波レーダ用ローカル信号発生モジュール試作
 - ・ミリ波レーダ回路部製作 等
- 研究開発に必要な物品の購入
 - ・三次元電磁界数値解析ソフトウェア
 - ・統合システムデータ記録用計測器 等

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A.(独)電子航法研究所			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
物品購入費	三次元電磁界数値解析ソフトウェア、導波管高調波ミキサー、他204点	14			
開発調査費	機上計器模擬・飛行管理装置製作、ミリ波レーダ用ローカル信号発生モジュール、他19件	13			
一般管理費		2			
その他	旅費、印刷製本費等	3			
計		32	計		
B.(株)ゼノクロス			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
開発調査費	機上計器模擬・飛行管理装置製作	7			
計		7	計		
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計			計		
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計			計		

【別紙】

B.民間事業者(50者) 27百万円		
No.	支出先	金額 (百万円)
1	(株)ゼノクロス	7
2	PTT(株)	5
3	ハイソル(株)	2
4	日本ナショナルインスツルメンツ(株)	2
5	プラムシステム(有)	1
6	(株)Project White	1
7	アジレント・テクノロジー(株)	1
8	(株)ハイ・テクノロジー	1
9	(株)甲信商工	1
10	(有)杉山製作所	1